

上・1坪の茶室スピーカー。漆の床と4本の柱で茶室宇宙をイメージしている。無の境地で音楽の創造性を表現。音は4本の円柱の上部から流れる。



上・アクリルの上に加賀友禅を貼った、華やかなスピーカー。右手前の球は、季節に合わせて他の布との着せ替えもできる。左・円錐形のスピーカーは頂部がパンチングメタル、下部はスチールに焼付け塗装。中央は風になびく草をイメージしたもの。

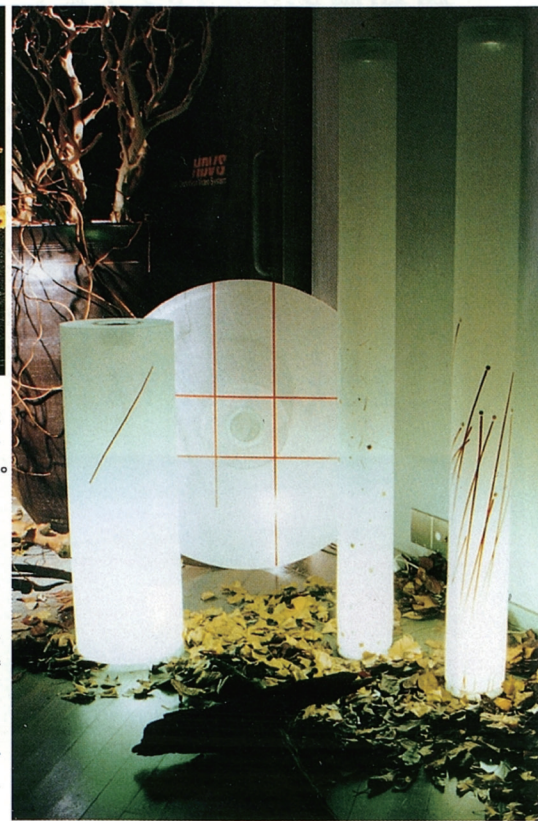


## 伝統ある素材を使った和感覚のスピーカー

音楽ホールを中心に建築音響設計を手がけている唐澤さんは、1年半ほど前「和のスピーカーと空間の融合性」をテーマにオリジナルデザインのスピーカーを発表されました。スピーカーはこれまで隠されていた部分でしたが、これを空間の中で自己表現したい、という意図のもとに試みられたもの。和紙や友禅、漆、金箔など日本の伝統的な素材を駆使してつくられたスピーカーは、モダンな現代空間にも似合うデザインになっています。「スピーカーを音が出る箱でなく作品としてとらえることで、聴く人が音を意識し、創造力を高めてほしい」と語る唐澤さんです。



上・鼓をイメージしてつくられた。空間に本物同様の存在感を与える。アクリル下地に加賀友禅とビニールシートを貼り、組みひもを使ったもので、音は左右から流れる。



右・アクリルの上にラミネート加工が施された和紙を貼っている。円柱のものはいずれも天井に向けて音が出る。円形スピーカーは裏から音が流れるように工夫された。  
●これらのスピーカーは個展のためにつくられたもので、商品化はされていないが、将来のスピーカーのデザインに、この新しい試みが生かされることを期待したい。

●唐澤 誠 / 株式会社唐澤誠建築音響設計事務所 ☎03-3379-0123

和風間仕切り「駒鳥」¥250,000



## 簾屏風間仕切りを枕元に置けば 今夜は王朝貴族になった気分

収納に便利な3枚折りにできる和風スクリーンです。素材は秋田杉、竹簾、紗紙、鳥の子紙。からだに優しい、自然の材料でつくられています。オープンなりビングダイニングを仕切ったり、来客の際に即席の寢室をつくったり。使わないときは小さく折り畳めるので重宝します。和室はもちろん、洋風の空間に置けば和のエッセンスが加わって新鮮。幅41cm・高さ135cm×3曲というサイズも手ごろ。

●金子定平商店 ☎0256-52-0745